

新小山市民病院

だより

No.44
2024年3月1日号*



目次

病院長挨拶	P.1	DMAT活動報告	P.2
初期臨床研修修了	P.3	お知らせ	P.4

TOPICS ★ 小山市総合防災訓練に参加しました! ★

12月2日(土)に小山市で開催された総合防災訓練に参加しました。小山市を震源とするマグニチュード6.9の直下型地震が発生し、最大震度6強を観測。この地震により、多くの家屋が倒壊し、道路、橋梁、通信、電気、ガス、水道などの公共施設やライフラインに甚大な被害が発生した想定で行われ、偶然にも今回の能登半島地震と同じような災害の内容で実施されました。当院からは、DMAT隊員4名が訓練に参加し、応急救護所設営、負傷者の受入、トリアージ、手当等の訓練を行いました。

今回の訓練を踏まえ、今後も市民の皆様が少しでも安心できる体制を整備していきます。



“災害医療への決意”

1995年1月の阪神淡路大震災は、私が自治医大に赴任して4年目の年でした。この時、自治医大は、いち早く数名単位の災害医療支援チームを編成して現地で活動を開始しました。自治医大は地方で勤務する卒業生どうしのネットワークがあり、国内のどこかに災害が発生すると支援し合う風土があります。2004年に新潟県中越大地震が発生し、このときも自治医大が独自にチームを派遣しました。これらは、1986年に発生した三原山噴火の全島避難の際の教訓があって、災害時には現地には頼らずに自力で「衣食住」を用意して出勤する心構えが既にできていたのです。

DMAT(Disaster Medical Assistance Team,災害時派遣医療チーム)とは、阪神大震災の初期医療体制の遅れが、多くの救える命を救えなかったという反省の下に生まれたものです。災害医療体制の全国的な構築を目的に研究を重ね、2005年に厚労省のもとで日本DMATが発足しました。2011年の東日本大震災、2016年の熊本大地震を含めDMATは、その都度経験を積み重ね、災害医療の様々な未解決課題を明らかにしてきました。神戸の「挫滅症候群」、中越の「エコノミークラス症候群」、東日本の「低体温症」など、その超急性期治療や対策・予防法が明らかにされています。東日本大震災以来、「災害関連死」や「メンタルヘルス」、そして今年は「感染症」の問題がクローズアップされています。

新小山市民病院は、訓練を積んだ医師、看護師他各種職種17人のDMAT隊員を擁して、2021年DMAT指定医療機関に認定されました。2022年には地域災害拠点病院に指定されました。今回の能登半島大地震が、コロナ禍を除いて、現実の大災害に対する初出勤となりました。

これまでの訓練とは異なるリアルな現場体験となり、DMAT隊員のみならず病院全体で災害医療への決意を新たにしています。合掌!

令和6年3月 新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

令和6年 能登半島地震におけるDMAT(災害派遣医療チーム)派遣!

このたびの災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

令和6年能登半島地震での被災地の災害医療支援のため、栃木県からの派遣要請を受け、宮脇医師、業務調整員3名(樺山・佐藤・石田)、看護師3名(杉山・瀬内・寺門)の計7名で新小山市民病院DMAT隊を結成し、1月6日(土)から9日(火)の4日間、石川県で医療活動を行いました。

また、1月25日(木)から30日(火)の6日間は、当院2隊目となる、岡田医師、業務調整員3名、看護師1名が医療活動を行いました。



1月1日(月)16:10に石川県能登地方において最大震度7の地震が発生しました。

全国のDMATは震度7の地震が発生した場合、自動待機となり、情報収集や資機材の確認など派遣要請に備えます。当院のDMATも帰省していた隊員もいましたが、正月3が日は、お互いに連絡を取り合い情報収集をしました。4日、院内のDMAT隊員を中心に病院としての対応を協議していたところで、5日午後に栃木県から正式に派遣要請の連絡が入り、6日早朝に医師1名、看護師3名、業務調整員3名の計7名が、ワゴン車と救急車に分乗し、石川県七尾市の能登総合病院を目指して出発しました。



移動中に、石川県庁の保健医療調整本部に目的地を変更するよう指示があり、金沢市にある県庁へ6日午後に到着しました。

そこで当DMATには、小松基地において、被災地の能登半島より自衛隊の大型ヘリコプターで搬送されてきた患者さんの受け入れや、基地近郊の搬送先病院へ救急車で送り出す活動が与えられました。ヘリコプターの一回の搬送人数は15~16名程です。しかし、ヘリから搬送先病院に搬送するために配備された救急車の台数は限られており、搬送開始までの間、寒空の下で長時間待機する患者さんが出る事が予測され、容態の悪化が懸念されました。そのため、リーダーの宮脇医師が、自衛隊衛生班隊長と基地内で一時的に患者さんを収容できる場所の借用交渉をし、許可が下りてすぐに収容場所のベッド配置・環境調整などの準備を行いました。



ヘリ到着後は、搭乗してきた他のDMAT隊員と共に患者さんの容態の確認を行い、搬送順位の調整を医師へ依頼し、患者さんの負担が軽減できるよう調整しました。大型ヘリ3機、患者46名をヘリから搬送車両へ移し、医療機関へ送り出しました。当院以外にも投入されたDMATが多く、情報が錯そうし、最初はうまく回らなかった部分もありましたが、何度も調整してきたことが功を奏し、2機目、3機目は比較的スムーズに収容することができました。

現場状況の変化や情報量の不足という災害時特有の状況にも関わらず、患者さんの容態を悪化させることなく、無事に搬送先病院へ送り出すという活動が行えたのも、市民病院のチームワークの賜物だと感じました。

発災後1週間で、まだ情報も錯そうし、活動も大変でしたが、金沢市内と小松市内の活動だったため、現地の被災状況はそれほどではなく、夜には身体を休めることができ、食事も温かいものが取れたことが唯一の救いでした。

今回の貴重な経験を踏まえ、災害拠点病院としての今後の対応に活かしていけるよう、また医療職としての職務に活かしていけるように努めていきたいと思っております。

(看護師・寺門、業務調整員・石田)



令和6年1月入職の職員紹介

1月1日より、新たに2名の医師が入職しました。よろしくお祈いします。

たかぎ めい
高木 萌伊

- 1 形成外科医員
- 2 大宮 (埼玉県)
- 3 アロママッサージ、ホットヨガ、温泉
- 4 形成外科一般



5 この冬にやってきました。よろしくお祈いします。顔のシミを診るのが得意です。寒いですので暖かくしてお越してください。

しいな さきこ
椎名 佐起子

- 1 麻酔科医員
- 2 茨城県
- 3 特になし
- 4 麻酔科全般



5 手術となると、たくさん不安があるかと思いますが、少しでも安心して頂けるよう努めます。よろしくお祈いいたします。

- ① 所属
- ② 出身地
- ③ 趣味
- ④ 専門分野 (医師のみ)
- ⑤ ひとつこと



2年間の初期臨床研修を終えて



2022年度に入職した2名の研修医の先生が、無事3月に初期臨床研修を終了します。

当院も初めての初期臨床研修でしたので、色々準備不足もありましたが、それでも研修医の先生たちは、一生懸命に取り組み、院外の病院へも、雨の日も風の日も毎日自転車で通い、頑張って研修していました。

2年間の研修を終えて

皆様によくしていただき感謝しております。矢島先生と相談しながら研修できたことが支えとなりました。過ぎてしまうと、あっという間であったなと感じています。(三木)

どの診療科に興味を持ちましたか？

- ・研修した科はすべて興味を持ちました！
- ・全科魅力的で、進路を決めるのにとっても時間がかかってしまいました！

2年間の研修を終えて

職員の皆様に助けられてばかりの2年間でした。医師の皆様や、他職種の方々にも多くの事を教えていただけただけでなく、その上、唯一無二の友人と切磋琢磨する事ができ、正にここでしか経験しえない充実したonly oneの研修でした。(矢島)

院外の研修はどうでしたか？

- ・自治医科大学病院では市中病院とは違う研修となり得るものがありました。
- ・クリニックでは温かく迎えていただきました。



病院食はおいしかったですか？

- ・いつも満足しています！
- ・当直で疲れた体にとっても染み入りました。いつもおいしい食事をありがとうございました。



当院の初期臨床研修、点数をつけるとしたら何点？

70点

100点

晴れて臨床医としての第一歩を踏み出す修了生の2年間の努力を讃え、今後もますます健康で、より一層ご活躍されますことを祈念申し上げます。

小山市国民健康保険および後期高齢者保険被保険者の方へ 令和6年度 各種ドック予約のご案内

***小山市ドック助成検診券利用される方へのご案内です。**



◆令和6年度も来院及び電話でのご予約は控えさせていただきます。

来院での混雑、電話が繋がらないことへの不利益を回避するため、予約受付は **webのみ** とさせていただきます。

【小山市助成検診券をご利用の方へ】

◆申し込み方法

- ・申込先 小山市保険年金課に申し込み後、小山市から郵送の検診券に同封されている **QRコード** から申し込み下さい。
- ・申込方法 **Webのみ**
- ・申込期間 **検診券が到着後～3月29日(金) 24時まで** ※期間厳守



◆受診日決定について

・予約枠数に限りがありますので応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

- 1) 予約日決定の方 書面で郵送により4月16日(火)までに通知いたします。
- 2) 抽選にもれた方 メール等にて4月16日(火)までにご連絡いたします。

***二次募集期(10月予定)に再度ご案内いたします。**

*メールが送信エラーにならないよう設定をお願いいたします。送信不可の場合、返信が遅くなります。



◆受診年齢について

- 人間ドック 年度年齢が**80歳未満**の方
- レディースドック 年度年齢が**70歳未満**の方
- 心臓ドック 年度年齢が**65歳未満**の方
- 脳ドック 年齢制限なし

※詳しくは助成券申込の際の「人間ドック等申込書」または当院ホームページの「予防医学センター」からご確認ください。

◆受診条件について

***以下の事項に該当される方は当センターでの受診はお受けできません。**

- 透析治療、抗がん剤治療、放射線治療中または治療終了後1年以内の方
- 受診日3か月以内に全身麻酔、腰椎麻酔で手術された方(受診日決定後の手術はご相談下さい)
- 認知機能に障害がある方、自立動作、自立更衣が困難な方
- 妊娠中、出産後6か月以内の方



令和6年度 新小山市民病院出前講座 開催のお知らせ

地域の皆さまに、医療についてもっと身近に感じていただくことを目的とし、医師および病院スタッフが講師として、ご希望の地域にお伺いする「出前講座」を開催しています。詳しい講座内容は冊子および病院ホームページ等でお知らせしています。

詳細は、事務部総務課(電話:36-0282)にお問い合わせください。

※会場予約および会場の設営は申込者の方がご準備ください。



【出前講座メニュー例】

昨年度に引き続き、
医師による講座も
開催されます!



ロコモ予防について
食事介助の注意点について
医療技術系のお仕事紹介
介護保険について
入院費に関する情報について
フレイル予防
について
など



- ・日時:月曜日～金曜日
午前9時～午後2時
(1講座40分～60分)
(年末年始、土、日、祝日は除く)
- ・会場:申込者の指定する場所で
小山市内
- ・費用:無料



職員採用のお知らせ

～私たちと一緒に働きませんか～

院内保育所も整備されています。ご連絡をお待ちしております。

1. 医師

2. 看護師



2024年度第1回採用試験(採用日:2025年4月1日)

試験日:2024年5月11日(土)

応募期間:2024年4月1日(月)

～2024年4月23日(火)まで

3. その他職種

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせ、または、ホームページをご確認ください。



お問い合わせ先 人事課 ☎0285-36-0285

地方独立行政法人
新小山市民病院

〒323-0827
栃木県小山市神鳥谷2251番地1
0285-36-0200(代表)

URL <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook <https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

LINE公式アカウント 右記QRコードを読み取ってください。⇒

